



# あなたを待っている子どもたちのために

## 第5回 「先輩からのメッセージ」

令和5年2月1日（水）発行 仙台市教育委員会 教育センター 若手教員支援

### 聞くことをためらわない ～第5回プレゼミナール～

第5回のテーマは「先輩からのメッセージ」でした。開催中にもさらに参加希望者があり、2/1現在で総数は108名となりました。その中で、第5回が全8回の中で参加希望者数が一番多く（希望者の約8割以上）となりました。それだけに受講される方々にとっては、現場の先生から直に話を聞くことができることに関心が非常に高かったのではととらえています。しかしながら、当日それぞれの事情や体調不良等で欠席する方が多く、参加者はオンライン参加を含め67名だったのが、少し残念なところでもありました。

#### 1 「先輩教員によるパネルディスカッション」

小学校と小学校以外に分かれての先輩（教職経験2・3年目）教員によるパネルディスカッションを行いました。初任の頃の経験談の他に、4月を迎えるまでの準備や先生としてのやりがい、具体的な学校の様子等、一つ一つが受講者にとって、貴重なメッセージとなっていたようです。その中で、「部活動」への質問が多かったことや、終了後も個別に先輩に質問する姿が多かったことが印象的でした。



#### 2 「校務全般」

「校務支援システム」「起案」「校務分掌」「職員会議」「部活動」等、本年度の初任者が、4月着任後にまとめたこと等を中心にその概要を学びました。

#### 3 「学校の動き・1年間の見通し」



小学校・小学校以外に分かれて、教務主任の先生からの話を中心に学びました。「着任してから子どもたちと出会うまで」「始業式・入学式からの1週間」、「4月の1か月」等、教務主任の先生ならではのより具体的な話から、受講者もより具体的なイメージを持つことができたようです。また、小・中学校の二人の先生の話から「見通しを持つこと」の大切さを受講生は感じていました。

第5回の3つの講座を通して、「聞くことをためらわないこと」が先輩からの共通のメッセージのひとつだったのではないかととらえています。

## 〈受講者の声〉

- 今日のプレゼミナールは、実際に先輩方からのお話を聞くことができ、親近感を持ちながら話を聞くことができました。また、3月の過ごし方や4月に入ってからの準備や行動について先輩のお話を聞けたので、自分はどの行動したらいいのかが想像しやすかったです。教務の先生のお話では、自分が特に知りたかったことを具体的に教えていただいたので疑問が解決されました。何時で帰れるのかは正直知りたいことだったので、実際の現場のお話を交えながら答えてくださったので、とても参考になりました。また、週や年単位で先を見通すことで自分は今何をすべきなのかが明らかになることが改めて分かったので、先を見通すことの大切さを忘れないようにしようと思いました。
- 具体的な話でとても自分のためになった。多くの先生方が周りの大人を頼ることを大事にしてほしいとおっしゃっていた。私もそれが最も大切であると考えているので、恥ずかしがらずに聞いていく姿勢を持ちたいと思った。
- 着任に向けて見通しをもつことができたとともに先生方からたくさんのやりがいなど熱い思いを伺うことができ、最近将来に向けて不安な気持ちが大きかったのですが、改めて教員を目指してよかったなという思いと、楽しい気持ちが大きくなりました。先輩の先生、講師のみなさんありがとうございました。
- 赴任までに準備していたほうが良いこと、赴任後の流れを実際に働かされている先輩方に聞くことができ、とてもためになりました。やはり、想像とは異なり大変な面もあれば、教員という仕事により一層魅力を感じる面もありました。
- 今回のプレゼミは、学生の私に今できることがとても分かりました。今までは4月からどうしたらよいか、どのように子どもたちに関わっていけばいいのかという教員になってからとても大切なことを学んできました。今回は教員になってから子どもたちと関わる前の、学生だからこそできることを学びました。特に、この1月後半から2月3月と約2カ月間このプレゼミがなければ、なにをしたらよいかもわからず、何もせずに4月からドキドキで心構えもできないまま初日を迎えることになっていたと思います。それが、現役の先生から4月までに何をしたらよいかを聞くことができ、心の準備ができると思いました。また、今自分が不安なのは当たり前で、だからこそ見通しを持つということが大切だと学びました。他にも今後直面するであろう分からない単語（O4 t h等）も事前に学ぶことができ、安心しました。今の私にできることをしっかりと行い、4月に向けて準備していきたいと思います。次回もとても楽しみにしています。今回もありがとうございました。
- 色々な立場の先生方からお話を聞く中で、着任までに何をしたら良いのか自分の中で整理することができ、今日から早速実践していきたいという気持ちになりました。これまでの自分は、4月までに何か準備をしなければならぬとは思っていたものの、具体的に何をしたらいいか分からず悩んでいたのが現状でした。しかし、今回のプレゼミナールで先生方の経験談や反省等を聞いて、自分に必要なことや自分に足りないことは何かを考え、先を見据えて、計画的に準備を進めていくことが大切なのだと思います。私のやりたいことリストの1つに、先生が実践されていた、子どものための「ノートづくり」があります。まだ配属先も担当学年も分からない状況ですが、子どもとの関わり方や教室内のレイアウト、学級開きで話したいこと等を書くことで、自分にとって必要なものが明確になったり、自分はこんな先生になりたいんだと改めて実感し、先生としての意識を高めたりすることができるのだと思います。時間がある今を大切に、残りの大学生活を楽しみつつ、先生になるための準備も頑張っていきたいと思います。



第6回「分かる・できる授業のために①」は、令和5年2月4日（土）開催予定です。主な内容は、本市のGIGAスクール構想に基づいて学校現場で取り組んでいることの概要とその疑似体験です。